



パワー (電力・動力)

2010 春

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙59号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ **ホンマ電機** 検索
発行責任者 本間 俊三

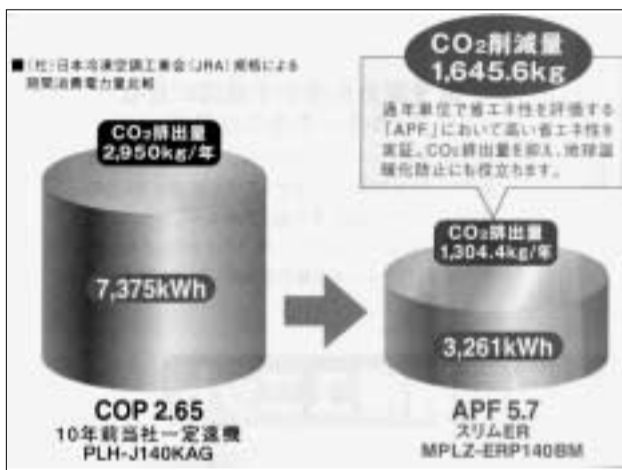
更に進むエアコンの省エネとCO₂削減

エアコン技術開発の歴史は、熱効率の向上を中心に機能性・快適性・操作性・工事性・小型化など、いろいろな角度から改善されてきました。地球温暖化が叫ばれる今日、CO₂排出量削減と省エネルギー性の観点から、大きく改善された点を複数メーカーの資料から紹介します。

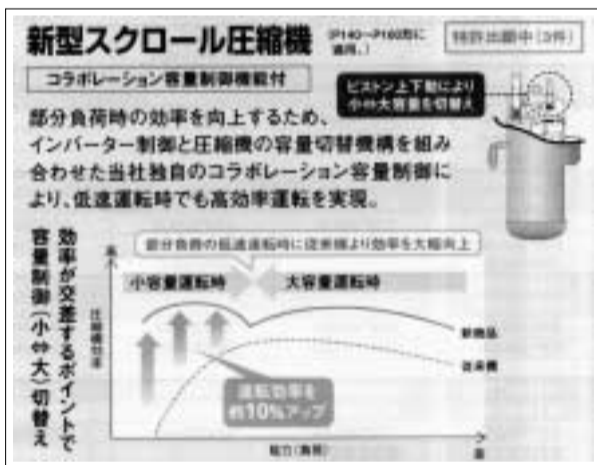
まず、各社が共通して強調していることは、10年前まで採用されていたノンインバーター機とインバーター機を比較すると、インバーター機は電力消費量がほぼ半減したことです。更にコンプレッサの改良と運転プログラムの改善で、運転効率を上げる工夫がなされています。

省エネエアコンを選んだときは、さまざまな数値が出てきて、各エアコンのどこを比較すればよいのか迷うのではないのでしょうか。そのような時、まず比較して頂きたい数値は、APF値でありましょう。これは運転状態におけるエネルギー消費効率であって、もちろん数値は大きいほうが望ましい。

また、省エネエアコンを選んだときは、さまざまな数値が出てきて、各エアコンのどこを比較すればよいのか迷うのではないのでしょうか。そのような時、まず比較して頂きたい数値は、APF値でありましょう。これは運転状態におけるエネルギー消費効率であって、もちろん数値は大きいほうが望ましい。



従来機との比較を説明したM社の例



新型スクロール圧縮機の開発で、更なる高効率化を果たしたD社の例

ちなみに、手元にある資料ではM社が4.8〜5.7、D社は4.6〜5.6、H社4.4〜5.5とほぼ拮抗しています。

2010年 私の提言

代表取締役 本間 俊三

バンクーバーでの冬季オリンピックでは、心配された暖冬による雪不足は対応できたようですが、これも地球温暖化の影響ではないかとわれています。昨年暮れ、気候変動枠組みへの国際会議が開かれ、世界が見守ったその成り行きは合意に至りませんでした。その席で日本は、条件付きながら90年比25%削減を約束しました。異論はありませんが

い替え推進を目指すエコポイントやエコカー減税政策をとることで、経済効果とCO₂削減という両方の成果を上げましたが未だ目標にはほど遠いのが現状です。一方の産業界では環境配慮型経営という手法に着目、CO₂削減と経営改善・経費削減をめざし導入が進行。要約すればエネルギーと資源の削減量の「見える化」であり、削減量の「目標化」です。また

電気料金の割引きと割増し

相当の覚悟と努力がいるようです。

日本のエネルギー消費量の推移では、産業部門が90年比ほぼ同程度、運輸部門は少し増えて15%増、それに比べ民生部門は30%増加。当然ながらエネルギーの消費はCO₂の発生を招くので、民生部門のエネルギー消費を解決せずに25%削減は実現不可能で大きな課題として残ります。政府もこれに着目、省エネ家電への買

エネルギー家計簿をつける家庭が増えました。この普及こそ家庭のエネルギー消費削減の切り札であり、政府は新たな政策で国民を誘導すべきと考えます。例えば電力消費が前年比マイナスの家庭の電気代を割引き、逆の家庭は割増しする案です。前年比は電力会社にデータがあるので家庭での煩雑さはありません。このような追加的政策は如何でしょうか。



省エネルギー性の評価方法として追加された「APF」表示

新入社員紹介



長田 昌彦 (48歳)
入社 平成21年12月
営業(省エネ支援事業部)
大手建設会社勤務、
代議士秘書を経て入社



県知事からの奨励賞

JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会が、奨励賞を受賞。弊社代表の本間俊三が会を代表して表彰を受けました。

神奈川県平成20年度犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞



近況報告



このイメージマークはサービスマークとして登録されています。



会を代表して松沢県知事より表彰状を頂く

恒例餅つきパーティー

昨年12月28日、仕事納めと社員の慰労をかねた恒例餅つきパーティーを催しました。全社員が集って歓談し、年の瀬の楽しいひとときを過ごしました。



餅つきを楽しむ社員たち

BUSINESS
フィールド

様々なイベントが開かれ、多くの観

弊社と取引関係にあるLEDランプ専門商社・日本エアロテック様の事例

■横浜赤レンガ

ある「横浜赤レンガ」は以前、明治の面影をそのまま残した倉庫で、そのままだと、そこに衣料品・アクセサリー・ピアホールなどのテナントを配置した夢のある空間に作り替えました。前の広場では、

■家具の大正堂相模原本店

日本エアロテック(株)
家具の大正堂相模原本店

LEDランプ採用で画期的な省エネ

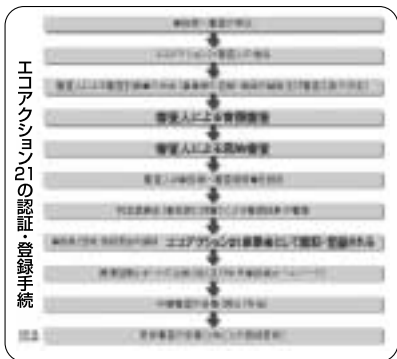


LEDランプを採用し、電気消費量を下げた横浜赤レンガ

ホンマ電機 **エコアクション21取得準備中**



エコアクション21

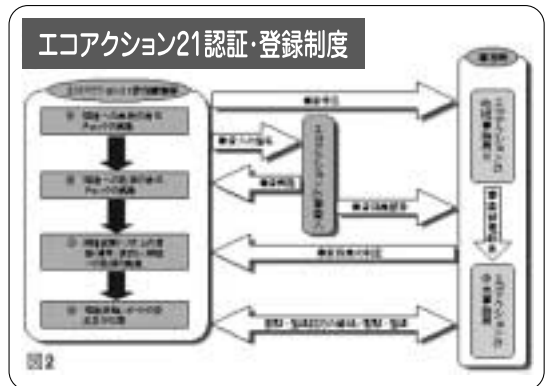


異常気象の原因といわれる地球温暖化や天然資源の枯渇などは、持続可能な社会構築の上で大きな問題となり、人類英知の見せ所となつていきます。そんな中でCO₂削減や省エネ・省資源化は、企業経営者にとっても生活者にとっても重要なテーマでもあります。

当社はこれまで創業以来、顧客第一や顧客満足度向上を経営理念の柱にしてきました。勿論この理念を持ち続けながらもこれからは、環境経営を付け加えようと思ひますし、私どものような中小企業といえども、環境を無視した経営は社会から受け入れてもらえないでしょう。そこで当社は、昨年暮れから環境規格の一つである「エコアクション21」の認証準備に取り掛かっています。

掛かりました。エコアクション21は従前からある国際規格ISO14001に対し、国内中小企業向けに開発された環境経営システムです。特に環境パフォーマンスに優れ、環境報告を行うことが特徴といえます。

環境経営に取り組むことにより当社では、消費するエネルギー経費を抑え、資源の無駄削減を果たし、経営的効果を上げることが出来ます。また、環境活動を外部に公表することで、お客様や消費者からの信頼感が期待できます。更には、省エネエレクトロニクスや省エネ照明などの紹介や販促で、お客様の省エネ活動をサポートさせて頂こうと思つていきます。



地域事務局のリストはホームページに掲載

政府の掲げる'20年まで25%削減は決して容易なものではありません。達成できなければ海外から権利を買い取る事になり、貴重な外貨を失つ事になります。省エネ活動が立ち遅れている中小企業や一般の家庭生活面においてCO₂削減が進めば、外貨流出も抑えることが出来ましよう。

企業の環境経営や生活者のエゴ生活は、自分を守ることであり地球を守ることにつながるはずす。

● 企業ルポ

● お客様紹介 (58)

丘整形外科病院

〒228-0825 神奈川県相模原市新磯野2丁目7番地10号



院長・医学博士
丘 松壽 氏

診療時間(年中無休)
月～金: 午前 9:00～12:00
午後 14:00～18:00
土: 午前 9:00～14:00
日曜・祝日: 午前 9:00～12:00

☎042-748-1201(代)
FAX.042-749-9645
http://sky.zero.ad.jp/okahp/
小田急線小田急相模原駅北口より
バス約10分、新磯野で下車徒歩約1分



丘整形外科病院の正面玄関



リハビリテーション科の機能回復訓練施設



社会復帰できるよう支援する看護部の看護師

丘整形外科病院

- ・開設 昭和54年11月
- ・救急告示 昭和55年11月
- ・院長(医学博士) 丘 松壽氏
- ・病床数 72床
一般病棟 33床
療養病棟 39床
- ・職員数 130人
- ・駐車台数 40台(無料)
- ・診療科目 整形外科・リハビリテーション科・麻酔科(ペイン外来)・内科・脳神経外科・形成外科

地域医療に大きな貢献を果たしている同病院は、昨年11月、開設30周年を迎えました。独自の整形外科専門病院として発足しましたが、単科病院だけでは対応が難しく全身管理の大切さもあり、整形外科治療の高度化への必然的対応として、逐次5診療科を付加。平成13年5月、現在の急性期医療と慢性期医療を併せ持ったケアミックス型医療機関となりました。

土・日・祭日の午後以外は年中無休の外来や、救急医療(24時間体制年中無休)にも力を注ぎ、地域医療の心強い支えとなっています。

東京医科歯科大学で学ばれた丘院長は「一人の医師を育成するために国は莫大な費用をかけています。折角いい腕をもっている医師も多いのに、単にクリニックを開業するだけでは社会的損失が大きすぎます」と病院開設の意義を話されました。

独自の年中無休体制については「医療はサービス提供の一環として年中無休であるべきであり、本来、公立病院が実施して然るべき」とも。常に最良の医療サービス提供を経営理念に掲げ、全職員がその具体的事項を共有できるよう、院長が作詞された病院歌を朝礼で週1回斉唱。その理念とは**5Sの精神**で高い質の医療の実践です。
safety speedy smooth smile service
(安全第一 迅速 チームワーク

余裕をもって仕事をする 奉仕)等です。なお平成19年4月、地域医療連携室を開設。患者へのサービスの一環としてソーシャルワーカーによる他病院(施設)への入院(入所)並びに各種相談を行なっています。今後、同院では近隣の病院及び診療所との連携を強化し、更なる最良の医療サービスを目指したいとしています。また、現在の個人病院から法人病院としての飛躍を全職員の協力のもとに遂行し、地域に役立つ医療機関としての発展を目標としています。

ホンマ電機では30年来、同病院の全電気関係に携わり、長いお付き合いをさせて頂いております。



リハビリテーション科での機能回復治療